



教育センター・育成センター所報

GALILEI

実験ショー



有孔虫化石を探そう



シラス 不思議発見



ふくらめ！光るスライム



雑誌でコースター



電子回路の製作



青少年のための **科学の祭典** 2013 柏崎刈羽大会

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
- ★親の一言・母の認知症
柏崎市教育委員会 委員 藤林 敦子
- 教育センターだより P 2
- ★アクセス（教育研究班） P 2
- ★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 8
- ★心の窓（教育相談班） P 12
- 青少年育成センターだより P 13
- 7月の行事予定表 P 15
- 所員随想「つれづれ」 P 15
- ★ホッとした言葉 教育相談班 主査（臨床心理士） 佐藤 郁代

平成25年6月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

親の一言・母の認知症



柏崎市教育委員会
委員 藤林 敦子

教育委員の仲間入りをさせていただいて半年が過ぎました。毎月の会議は難しく、一に勉強二に勉強いや一生勉強と唱えながら出席しています。そんな中、兄の退職祝いにと、認知症の母と兄夫婦が三日間の温泉旅行に誘ってくれました。頭の整理にと軽い気持ちで参加した珍道中を書きます。(私事で大変恐縮です。)

アルツハイマーと診断された5年前“私がそんなのになるはずがない”と憤慨していた気丈な母が6年前に他界した父のお墓で“えっ！いつ死んだの？”と泣き崩れて・・・

“私の一人娘（私）はどうしてもほしいと言われ養女に出してしまって学校につとめているらしいが、どこにいるのかわからない。”

“この母さん（兄嫁）は私のそばから一時も離れないで、さっさっさーと何でもしてくれるよ。頭の良い人だよ。”

“今、浴衣姿のかわいいい人（兄）が通ったけど、うちの父さんもかっこよかった。なんだか似てる。” などなど・・・

88年間の母の潜在意識が認知症の力でこのような言葉が出るのだらうと思いました。私の“その時”はどんな潜在意識が言葉になるのでしょうか。

勉強しなさいと一度も言わなかったのに、「女は酒を飲んではいけません。タバコなんて言語道断。」とキッパリ。幼少のころからの耳のタコに従い、この歳になっても人前では飲めないことになっています。飲みません。いえ、飲めないのです。

相田みつをさんは“育てたように子は育つ”と詩を詠まれました。何気ない親のひとことが、子の人生を決めてしまう。(口癖を子供はちゃんと聞いている。) 私も親になって30年。伝えられることはすべて伝えてあるだろうか・・・

年寄り笑うな、行く道だ。子供叱るな、来た道だ。

母との三日間の旅は、これからの私の大きな道しるべとなった事はいうまでもありません。

人間としてまだまだ半人前を痛感しています。

親に貰ったこの命を大切に、教育委員として研鑽を積みみますので、どうぞよろしく願います。

■ 実施研修講座を振り返って

特集1 「こんな子どもを育てたい！」という思いを授業に落とし込む

～単元レベルでの授業構想を～

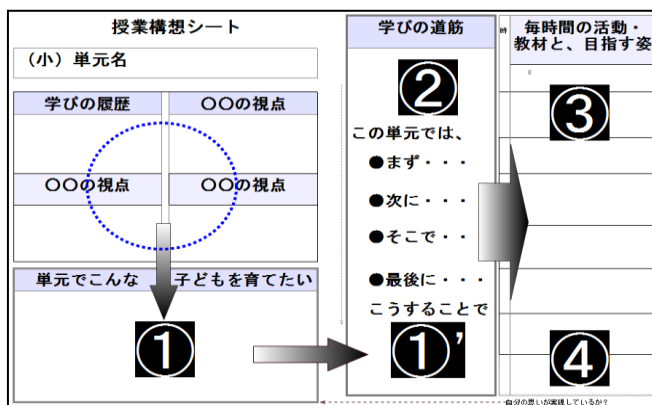
◆5/28 (火) 授業づくりゼミ①

担当 山田

昨年度末、複数の先生方からこんなことをお聞きしました。

- 研修で勉強になったことや普段から「やってみたい」と感じていることを実際の授業で子どもの実態に合わせて実践してみることは意外と難しい。
- 1時間ごとの授業づくりに追われ、気がつくやと中間テストが…。いつも「やっつけ授業」です。
- もっと日常的に、授業づくりの話をしなければ、と思うのですがなかなか…

そこで、こんな先生方の授業づくりが有効に進むようなゼミを行いました。そこでは「こんな子どもに育てたい」という単元末での子どもの姿を「夢を描くように!」「ワクワク感の中で!」設定し、そこに向かっていく単元のストーリーを文章で生き生きと描きます。その後、1時間ごとの授業にしっかり反映させる教材研究を右図のように構造的に行い、構想を批評し合いました。(従来も当たり前のように取り組んでいらっしゃる方は大勢います。)



使用したA3シート。数字の順に構想していく。

そこでの構想例を紹介します。(①、②部分のみ)

① こんな子どもを育てたい (例)

「人や動物の体」単元では、従来の指導では単に各臓器に関する知識や技能の習得に陥りがちだったため、もっと自分の体の仕組みの精妙さや神秘さに自ら気付き、自他のからだを大切に子どもを育てたい。

② そのための単元構想 (例)

まず、導入で実際の体内で撮影した心臓や内臓の規則正しい動きがわかるVTRを視聴し感想を述べ合う場を入れる。次に、各部の仕組みと働きを観察・実験を通して学んでいく。…これらを学んだ終盤では、親からの「わが子の命の重さ」というタイトルの手紙を渡し、かけがえのない命という認識を高めていく…(この後、この流れを一時間ごとの授業のねらいに落とし込みます)

こうすることで、教科書の配列は大きく変えなくても、

- ・単元の導入、終末をどう印象的に行うか
- ・途中の展開をどう主体的探究的に行うか
- ・教える場、考えさせる場はどこか
- ・学びの履歴を考慮すると、新しい事象との出会いはどこか
- ・学級の実態をどう変えていくか



等について、授業に落とし込みやすくなり、先生自身が授業づくりに前向きに取り組むことができる場合があります。(授業づくりについては、思考を促す視点での教材、板書、話し合い活動等 1時間単位で考えたり、「学ぶ姿勢」等を重視して全職員で取り組んだ方が効果的だったり様々で、今回のアプローチやシートも決して万能でなく、その中の一つとして位置付けています。)

参加者の感想としては『これだ!』と思う単元シートをいただき書いてみると、今日の午前まであ

った『明日も授業がある。何しよう・・・』という焦りがなくなり、授業作りが楽しくなってきました」
 「帰りの車で、具体的なプランも出てきました。久しぶりに楽しい時間でした」「皆さんのコメントも勉強になりました。授業作り、頑張れます」等、肯定的な内容が多くありました。一方で、「構想はしやすいが学校での書式と違うのでギャップが気になる」「一枚で視覚的に見やすいが本時の指導案も入れられないか？」等、シートの書式の改善を望む声もありました。ゼミは 6/28、8/22、10/22、12/26 にあります。

特集2 「効果的だと思うところでは必ず使う」という強い気持ちで

◆6/11（火）小国、6/14（金）小中社、6/19（木）小算・中数 デジタル教科書の使い方
 担当 山田 智

デジタル教科書は一斉指導で**視覚化、焦点化、共有化**がしやすいという、すべての子どもに学びが成立するための手立て3原則を網羅しています。この講座では、毎回一人一台環境のもと、機能把握を行っていただいたのち、実際、授業場面を想定しながら研修を深めました。その中で次のようなことを確認しながら実習を行いました。

1 デジタル教科書は効果的だと思われる場面でのみ使う

(1) 毎時間使わなくてもよい。

一単元一箇所でもよい。しかし、ここは明らかにデジタル教科書を活用したほうが効果的！と言える場面では必ず使うべき。

(2) 初めから「後で個別指導を」というスタンスは避けたい。

私たちは一回の一斉指導でどの子にも理解させることが仕事。

2 積極的に環境整備を進める

(1) 準備は子どもが全て行っている例→位置をマーキング。チャイムで使える状態に

(2) 空き教室をデジタル教科書専用教室に

(3) インタラクティブユニット使用は任意で

終盤では模擬授業を行い、子どもの立場になった使い方について意見交換を行いました。各学校での活用を進めてください。



小学算数 授業構想を議論する様子



中学校社会 模擬授業の様子



小学校社会 模擬授業の様子

インクルーシブ教育をささえるもの

◆5/22（水）発達の特徴がある子どもへの指導・支援①

講師 学校教育課 指導主事 今井由実子 事例発表 高柳中学校 原 由紀教諭

この講座は「通常学級に在籍する特別な教育ニーズのある子どもたちへの対応」というテーマで開催しました。

その中で担当の今井由実子指導主事からはインクルーシブ教育の実現、推進に関して「途切れない一貫した指導支援」「早期からの組織的な支援が就学以降も保障」などの視点の重要性についての講話がありました。また、高柳中、原由紀先生からは発達の特徴がある子どもへの指導支援について事例発表をしていただきました。現任校でのわかりやすい授業づくり、教室環境についての紹介があり、参加者の学びが深まりました。



実践発表 高柳中学校 原 由紀先生

課題提示を工夫し、子どもとの対話で発言を引き出して・・・

◆5/30（木）同和教育師範授業

講師 上越市立高田西小学校 教諭 白鳥美智子 様

この講座では荒浜小学校のご協力をいただき同校の校内研修と兼ね、学校研との共催で行わせていただきました。白鳥美智子先生は師範授業「よみがえった黒べえ」で、差別する側、される側の関係を明確に押さえ、差別される不条理さを子どもと対話を繰り返しながら引き出していました。

講義では「明るく元気がでる同和学习」というテーマで理論面についてご講義いただきました。参加者の感想からは「子ども達が差別について真剣に受け止め考えていた」「差別は人の心が作り出していることを確実に押さえていた授業だった」等、同和学习にかかわる内容面だけでなく授業づくり面でも学びが深まった研修だったことがわかります。



講師の白鳥美智子先生

その学校らしさをしっかり出していきましょう！

◆5/30（木）マーチングバンド講座

講師 日本マーチングバンド・バトントワーリング協会 根津和則 様

この講座では昨年に引き続き、講師に日本マーチングバンド協会公認指導者の根津和則氏をお迎えし開催しました。目指す姿としてVTRを紹介していただく中、実技ではステップの繰り返しを行い、基本を重視されていました。また、図を用いながら「どの動きを魅せたいのかをしっかりと決めること」「その学校らしさをしっかりと出すことが大事」と語っていらっしゃいました。

7月の本番で子どもたちが、周囲の方々から喝采を浴び、達成感を得る場面が目に見えてきました。先生方の中には経験の長い短いがありますが、どの先生も自分の学校の子どもたちの顔を思い浮かべて受講されていたと思います。



講師の根津和則先生

子どもが作る学校美術館。校舎がギャラリーになる・・・

◆6/4（火）美術教育講座

講師 上越市立稲田小学校長 池上秀敏 様

この講座は、元新潟県立近代美術館学芸課長を歴任された池上秀敏様をお迎えして、学校研との共催で行わせていただきました。「柏崎ゆかりの画家・國領経郎の世界」では、作品を前にしながら様々な視点での奥深い鑑賞方法を紹介していただきました。また、子どもが運営する学校美術館の紹介を通して、学校の美育環境を整備することの大切さを教授していただきました。参加者の感想の中には「自校にギャラリーを作ります」「環境を整え、子どもと対話することが大事だとわかった」等、子どもたちの豊かな心を育くむ取り組みを実際に展開していく強い意欲が感じられる記述が多くありました。



講師の池上秀敏先生

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆ 柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名/資料名
6/4	セキュリティ対策入門 セキュリティ対策入門.pdf (第7版)
6/6	電子メール入門 電子メール入門.pdf (第7版)
6/20	インタラクティブユニットとプロジェクトの利用手順 IUとプロジェクトの利用手順.pdf (第3版)

◆ コンテンツサーバ

実施日	講座名/資料名
6/12	スクールオフィス名簿管理講習 N07_名簿管理講習.pdf (第5版)
6/13	スクールオフィス小学校成績管理通知表作成講習 N021_小学校成績管理設定編.pdf (第5版) N023_小学校成績管理通知表作成編.pdf (第4版) スクールオフィス成績管理の流れ小学校.pdf 通知表のデザインサンプル-小学校.pdf 小学校成績管理コピー貼り付け用サンプルシート.xlsx
6/18	スクールオフィス中学校成績管理通知表作成講習 N025_小学校成績管理設定編.pdf (第2版) N027_小学校成績管理通知表作成編.pdf (第2版) スクールオフィス成績管理の流れ中学校.pdf 通知表のデザインサンプル-中学校.pdf 中学校成績管理コピー貼り付け用サンプルシート.xlsx

◆ コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
6/4	ALT News Letter 第19号

■ 情報関連講習会のご案内

7月に実施される講習会

◆ H25. 07. 02(火) スクールオフィス PTA メール講習

教職員や保護者に対する連絡メールを管理する「PTAメール」機能について、利用までの環境設定、対象アドレスの登録、連絡メールの配信手順などを学習します。



◆ H25. 07. 11(木) 学校ホームページの管理(ホームページ管理者向け)

スクールオフィスのおたより機能との連携を中心に、担当者が作成したページをまとめて、学校全体のホームページに仕上げ、更新を容易にするためのポイントを学習します。この講座は部分的にホームページビルダーを使用します。

◆ H25. 07. 12(金) 保健統計

毎年実施している保健統計処理のために、各校の測定データを入力し、柏崎市教育情報支援システムの指定場所に登録するまでの具体的な手順について学習します。その場での登録まで行いますので、研修当日データを持参してください。自分で入力と送信ができる方は参加の必要はありません。なお、統計の担当者は、各校が登録したデータの集約と比較データの入力をさせていただきます。



◆H25. 07. 17(水) ホームページ作成入門(ページ作成担当者向け)

スクールオフィスのおたより機能による学級や学年のホームページ作成のポイント、文書の PDF 化や基本的な操作を学習します。この講座ではホームページビルダーは扱いません。

◆H25. 07. 18(木) ジャストスマイル活用法

小学校に整備されている統合ソフトである「ジャストスマイル」を使ったフラッシュカード教材の作成について学習します。学年別辞書、楽譜作成(作曲)機能、お絵かき機能など、ジャストスマイルに用意されている様々な機能についても紹介します。

◆H25. 07. 19(金) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その3

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

講習を受けなくても文書や表ぐらい作れると思っているあなた！
だまされたと思って夏季休業期間中の Office 講座を受けてみませんか。きっと新しい発見がありますよ。「今までなんて無駄な時間を使っていたんだろう・・・」なんて思えるかも。



◆H25. 07. 24(水) Word 入門(使いやすい設定、文字レイアウトのコツ)

Word を使いやすくするための環境設定と、文字や段落を美しくレイアウトするために必須のコツを学習します。普段インデント・タブ・段落設定をあまり意識していない、あるいは文字がうまく揃えられないことがあるという方は、ぜひこの講座を受講してみてください。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】オートコレクトの解除、クイックアクセスツールバー、「Enter」と「Shift+Enter」の違い、改ページの挿入、インデント、5種類のタブ、プロポーショナルフォント、互換モード

◆H25. 07. 24(水) Word 活用1(作表のコツ、画像レイアウトのコツ)

Word における作表機能のコツ、画像の挿入とレイアウトのコツを学習します。画像を入れた文書がうまくレイアウトできない、あるいは指導案など大きな表を入れると思い通りに編集できないという方は、ぜひこの講座を受講してみてください。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】セルの配置、両端揃えと左揃えの違い、列幅や行高の様々な調整方法、セル内のインデント設定、タイトル行の繰り返し、表の一部が次ページに飛んでしまうことを避ける設定、画像に額縁や影を付ける、画像のトリミング(不要部分のカット)、画像を圧縮してファイルサイズを小さくする、画像の様々な配置方法

◆H25. 07. 25(木) Excel 入門(作表の基本と簡単な集計)

Excel の基本的な操作と表の体裁の整え方、簡単な集計のしかたを学習します。Excel2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】ブック内のシートの増減やコピー、離れた列の幅を揃える、数式を入力する、他のセルを参照する式を入力する、オートフィル機能、SUM 関数、AVERAGE 関数、どのような関数が用意されているか(使用頻度の高いもの)、表の体裁を整える、印刷をコントロールする

◆H25. 07. 25(木) Excel 活用1(並べ替え、単純な抽出、計算式と基本的な関数)

並べ替えや簡単なデータの抽出方法、計算式や基本的な関数の使い方について学習します。Excel2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】条件付き書式、データの並べ替え(ソート)、データを条件で絞り込む(フィルター)、他のシートやブックを参照する、相対参照と絶対参照、集計表などの作成に使用する関数

(INT, ROUND, SUM, AVERAGE, COUNT, COUNTA, MAX, MIN)、名簿などの作成に使用する関数
(TRIM, CONCATENATE, PHONETIC)

◆H25. 07. 26(金) 画像編集入門(GIMP)

フリーソフトウェアである GIMP を使って、デジタルカメラで撮影した画像やスキャナから読み取ったデータのサイズ変更や画像補正、レイヤーの活用について学習します。

◆H25. 07. 29(月) Word 活用2(ヘッダ・フッタの設定とセクションの活用)

ページ番号や文書名などをページの余白に入れる手順、セクションを設定してレイアウトの異なるページを同一文書内で扱う手順などを学習します。研究紀要や文集などを美しく、効率的にまとめるコツも伝授します。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】ヘッダ・フッタの挿入や編集、ページ番号の設定、セクション区切り、他の文書の挿入、段組み、改段の挿入、段落罫線、ページ罫線、表記ゆれ、文字の検索・置換

◆H25. 07. 29(月) Word 活用3(差込印刷と宛名印刷)

Excel で作成した名簿データを使って Word で差込印刷を行う手順を学習します。案内文への所属・氏名の差し込み、はがきやラベルへの住所・氏名の差し込みを扱います。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】同じ文面を宛先を変えて印刷(差込印刷)、官製はがきへの宛先住所の印刷(宛名印刷)、タックシールへの住所等の印刷(ラベル印刷)

◆H25. 7. 30(火) Excel 活用2(条件判定、複雑な抽出、表引きと便利な関数)

条件判定や件数のカウント、順位付け、表データの検索などの応用的な関数の使い方を学習します。Excel2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】

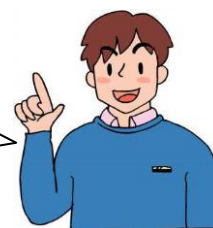
条件判定に使用する関数(IF, ISBLANK, ISNUMBER, AND, OR, NOT)、件数のカウントや順位付けに使用する関数(COUNTIF, COUNTBLANK, RANK)、表データの検索に使用する関数(VLOOKUP, HLOOKUP)、条件によるデータの抽出、名前定義、串刺し計算、SUMIF 関数、配列数式

◆H25. 7. 30(火) Excel 活用3(アンケート集計)

データベース関数によりアンケートの結果を様々な角度から分析できる集計方法を学習します。数値のグラフ化、Word 文書への貼り付けなども紹介します。Excel2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】グループ集計、データベース関数(DCOUNT, DSUM)、グラフの作成と調整、セル内のグラフ、WORD との連携

アンケートの集計をする機会の多い方はぜひ受講してみてください。手で集計して結果だけ入力するのではなく、素データを入力すれば集計が終わり、条件を変えて項目間の関連を分析できるような Excel シートを作成できるようになります。



■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、6月12日付で6月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が1件、「重要」が4件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

研修会・事業の様子

○小学校放射線教育研修会 6月14日(金)実施 原子力広報センター

◇講師 舟生 武史 様 (e-サイエンスコミュニケーション)

◇内容

昨年度、各小学校に配布された放射線に関する副読本を活用するため、昨年度配布したプレゼンをバージョンアップして紹介させていただきました。ぜひ、ご活用ください。近日中に各学校へ、理科センターより配布させていただきます。

研修は、放射線に関する講義と、いくつかの実習を行いました。放射線の飛跡を見たり放射線測定器を使って放射線量を測定したりしました。原子力広報センターや理センにご相談いただければ、授業の際の器具の貸出や、要請にも応じられますのでご活用ください。



○上越地区合同野外研修会 6月15日(土)実施

斑尾高原「沼の原湿原」

◇講師 五百川 裕 様 (上越教育大学)

◇内容

あいにくの雨でしたが、幻想的な湿地の静けさや、風景、植物を楽しむことができました。ヤマボウシが咲き始め、カキツバタやサワオグルマが満開でした。



カキツバタ

ケナシヤブデマリ

⇒



○プラネタリウム研修会 6月18日(火)実施

柏崎市立博物館

◇講師 佐藤 俊男 様 (博物館学芸員)

◇内容

6月下旬から各小学校4年生で実施予定のプラネタリウムを活用した授業を行うための参考に、センター協力員と博物館の佐藤学芸員で模擬授業を行いました。プラネタリウムの中で、児童との対話を重視して学習を進める授業の提案をさせていただきました。実天を見上げるのに近い体験がプラネタリウムではできるので、実感を伴った理解につながりやすく、児童の興味関心をかきたてるのに効果的と考えます。他学年でも活用の可能性が広がります。



青少年のための科学の祭典2013 (6月1日実施)

☆ご協力・ご来場ありがとうございました☆

恒例の科学の祭典を新潟工科大学で開催しました。原子力広報センター、海洋生物環境研究所の職員の方々、地域の業者さん、新潟工科大学・柏崎工業高校の先生・学生の皆さん、柏刈地域の教職員の皆さんからご協力いただき、無事終了することができました。春の祭典は工科大学の学祭と同時開催で天候に恵まれたこともあり、約2500人の来場者を迎えることができました。今回は17ブースを用意し、子供も大人も目をキラキラさせながら、さまざまなブースで科学工作・実験・観察を楽しみました。

ブース担当の方々と子供たちとのやりとりを見ながら、喜んだり、驚いたりする子供の純粋な気持ちに寄り添い、一緒に感動を味わうことをこれからも大事にしていきたいなあと感じました。そして、科学の祭典は柏崎刈羽の子どもたちを地域みんなで育てようとするいろいろな方々の力の集合するところだと実感しました。

秋は、科学の祭典だけの単独の開催となりますが、また多くの先生方にスタッフとして参加していただき、科学の祭典と一緒に楽しみ、盛り上げていただけたらなあと思います。ちょっとした時間でできる科学工作のネタを入手するだけでなく、子供たちの笑顔や、普段見ている顔とは違った一面に出会えると思います。



今回の実験ショーは「空気びっくり」、空気の実験ショーを行いました。空気砲で空気の塊を飛びださせたり、どんな形をしてとんでいるのか空気に色をつけて見せたり、ブロアーをつかってボールやどんぶり、飲みかけのペットボトルなどを宙に浮かせたりしました。

空気砲から飛び出す空気の輪を見て、「うわ〜。」と歓声があがり、ブロワーで浮かせたくるくる回る巨大風船リングを見て、「きれい〜」と歓声があがりました。

～来場者さん・スタッフとして協力してくださった方にインタビュー～

- 小学校5年生 「スライムが楽しかった。水みたいにさらさらしたものが、どンドンぐにやぐにやしたものに変わっていくのが不思議だった。」
- 小学校1年生
保護者 「シラス不思議発見が楽しかった。カニの赤ちゃんと、カマスの赤ちゃんを見つけました。」
「いつもより大勢いるように感じます。年々パワーアップしていますね。毎年きているけれど、新しいブースができていておもしろいです。」
- 大学生 「僕たち(大学生)は、普段小学生とはなかなか接点がないけれど、今日たくさん話をして、一緒に楽しんで、こういうイベントは、気持ちがあったかくなっているいいですね。」と笑顔。
- 教職員 「子どもたちが、純粋にこんなに不思議を感じてくれたり喜んでくれたりするとこっちがうれしくなります。子どもたちの純粋な反応を大事にしようと思いました。」

※科学の祭典でやったことも含めて、要請があれば科学クラブなどに出張します!「うちの学校にも来てほしいなあ。学校でやってほしい!」という方はお電話ください。





～6・7月の予定～



○小4「小中から高への学びのつながり～電気の単元を例に～」

◇日時 6月27日(木) 15:00～16:45

◇講師 刈羽村立刈羽小学校教諭 阿部 元治 様

◇内容

小学校から中学校あるいはそれ以降の学びを「うまくつなげる」ことで問題意識を強く感じさせることができます。「そうか、中学校でこんな学びが待っているから、ここを大事にして中学校へつなげるわ。」「高校ではこんなことを学ぶのだから中学校ではここに重点を置こう。」と意識すれば、単元の構想はかなり違ってくるはずです。この講座では、電気の単元を例に具体的なつながりと、それをどのように単元構成に生かすか、事例紹介していただきます。

○小5「流れる水の働き」鵜川

◇日時 7月3日(水) 14:30～16:45

◇集合 教育センター駐車場

◇内容

実際の川の観察に出かけ、上流と下流で見られる石の特徴の違いとそれぞれの場所で流れる水の様子を観察します。鵜川で現地学習を行うのに適した観察場所の紹介や注意事項について研修を行います。

○小中合同野外研修会

◇日時 7月27日(土)～7月28日(日)

◇場所 柵池・八方尾根方面

◇講師 上越教育事務所 品田 やよい 様

◇内容

柵池・八方尾根における亜高山帯から高山帯への植物の遷移と、湿地から乾地への植物相の変化を学びながら、色とりどりの花を楽しむことができます。今年度はお花満喫コースと、登山満喫コースを用意したいと思います。山の壮大な景色を見て、心に栄養を。また、いろいろな年代の先生方との交流も楽しみの一つになります。

「参加したいけどまだ申し込んでいなかった！」という方、まだ間に合います！センターへ連絡を！お友達を誘っての参加も大歓迎です。

○小学校4年生 プラネタリウムを活用した授業

◇日時 6月下旬から7月中旬まで

◇場所 柏崎市立博物館

◇内容

市内の16校で実施することになりました。プラネタリウムを使用することでより効果的な授業の展開が期待されます。実施する学校の担当の先生方は、博物館の佐藤学芸員との事前打ち合わせをよろしくお願いいたします。

柏崎市立教育センター(科学)主催

宿泊野外研修会に行こう!

～梅池・八方尾根方面～

日時:平成25年7月27日(土)～28日(日)

宿泊:シャルムいなば

費用:28,000円程度(後日決定)

講師:品田 やよい様(上越教育事務所)

:植物研究グループの皆さん

詳細は申し込み後、改めてご案内します。

☆若い人からベテランさんまで、幅広い年齢層の方々と仲良くなれます。

☆体力や目的に合わせてのコース選択が可能です。

大自然の中で見て、感じて、心に栄養を!

心の窓

No.166

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591(代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

☆☆☆ ふれあいルームより ☆☆☆

恒例行事 ≪ 笹団子作り ≫



えんま市前のふれあい恒例行事、笹団子作りを今年も高田コミセンの調理室をお借りして行いました。当日までに笹団子で使うヨモギ取りと笹の葉取りをしました。この作業も毎年恒例になってはいますが、今年は気候の関係で笹の生育が遅く、苦労しました。当日ぎりぎりまで、様子を見ながら、みんなで協力し、笹団子 150 個分の笹 450 枚を何とか採ることができました。



笹団子の中には、講師の保坂さんのおいしい手作りあんこと、みんなで話し合っただけめたチーズ、イチゴを入れました。手にくっつくお餅や笹団子を菅でしばる作業に悪戦苦闘しながらもおいしい手作り笹団子が完成しました。

最後はみんなでできたての笹団子を試食し、家にもお土産で持ち帰りました。きっと家でも笹団子を食べながら楽しい会話がはずんだことでしょう。



「むずかしい…」



「完成！！」

(ふれあいルーム指導員 須藤直子)



教育相談班 7月の予定

≪ふれあいルーム≫

- 4日(木) ソフィアセンター
- 9日(火) 水泳体験
- 11日(木) バス課外活動
- 23日(火) 前期前半通級終了日

≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ (SST)

- 5日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 12日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 19日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 24日(水) 18:30~20:00 中学生①グループ
- 25日(木) 18:30~20:00 中学生②グループ

<h1>育成センター通信</h1>	0841	柏崎市青少年育成センター
		〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2 Tel.0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

7・8月の予定

7月は、全国青少年健全育成強調月間です。

育成委員が、啓発活動と青少年を取り巻く社会環境実態調査を実施します。

日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
7月 1	月	夜間育成活動 (12班、13班)	8月 1	木	夜間育成活動 (10班、11班)
6	土	青少年健全育成月間啓発活動 (2班～8班)	5	月	昼間育成活動 (6班、7班)
11	木	昼間育成活動 (1班、9班)	8	木	昼間育成活動 (8班、9班)
13	土	高校PTA育成活動 (高校PTA、3班、4班、5班、)	9	金	夜間育成活動 (12班、13班)
17	水	青少年健全育成県民大会 於；リージョンプラザ上越	18	日	中高生と大人の座談会
19	金	夜間育成活動 (10班、11班)	22	木	わたしの主張 柏刈地区大会
30	火	夜間育成活動 (12班、13班)	24	土	夜間育成活動 (10班、11班)

青少年育成委員会総会が開催されました

6月3日 於；市民プラザ

平成25年度の青少年育成委員会総会を実施しました。

はじめに、25年度から26年度末までの69人の育成委員の辞令交付を行いました。今年度は37人の新任、32人の継続者という構成でスタートです。

総会では、育成委員会の表彰規定に基づき6名の皆様の永年表彰を行いました。36年間という長きに亘って柏崎市の青少年健全育成にご尽力いただいた方もいらっしゃり、これまでのご功績に、大島正忠会長から感謝状が贈呈されました。

議事では、24年度の活動を振り返り、25年度の新しい体制での活動計画を審議しました。





25年度は、これまでの反省を活かして

- 小中学校PTAによる夜間育成活動は、地区で夏季夜間に実施する。
 - 小中学校、高校PTAによる昼間育成活動は、年1回とする。
 - えんま市育成は、小中学校新任校長・高校教職員や育成委員で分担して3日間活動する。
 - 全国青少年健全育成月間には、社会環境状況調査と啓発活動を実施する。
- などの案件が承認されました。

後半の全体研修では、育成活動のあらましを研修後、班別・地区別に分かれて活動計画を立てました。

いよいよ青少年健全育成活動がスタートします。三役を始め班長・地区代表など19名の役員を中心に、69名の育成委員・小中学校PTA・高校PTA・育成センター職員が連携して、取り組むこととなります。まずは大人から子どもたちに、声掛けやあいさつを心掛け、地域ぐるみで子どもたちを育んでいきましょう。

平成25年度 青少年育成委員会三役

役員	氏名	地区	役員	氏名	地区
会長	大島正忠	高田	会計	竹内吟子	上米山
副会長	岩間由朗	中通	監事	品田宇一郎	松浜
副会長	大塚智恵子	中央	監事	林文男	中鯖石

青少年を取り巻く社会環境実態調査を実施します

□ 目的

柏崎市における青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資することを目的とします。

□ 実施方法

青少年育成委員が実施します。

□ 調査期間

7月1日から7月31日まで（「全国青少年健全育成強調月間」にあわせ実施）

□ 調査内容

・書籍販売の状況 ・ゲーム場の設置状況 ・がん具取扱いの状況 ・DVD等取扱いの状況
 （酒、タバコの自動販売機・カラオケボックス等の調査は、隔年になりましたので、今年度は実施いたしません。）

7月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	月	育:夜間育成
2	火	研:発達の特徴がある子どもへの指導支援② 情:S0 PTAメール講習
3	水	研:小学校学国語活動研修(新道小)14:00- 科:鵜川巡検 14:30-
4	木	ふ:ソフィアセンター10:00-
5	金	相:SST小学Aグループ16:30-
6	土	育:青少年健全育成月間啓発
7	日	
8	月	相:班会議13:00-
9	火	研:不登校コンサルテーション② ふ:水泳体験
10	水	研:発達の心配のある子どもの保護者への相談・対応
11	木	研:中学校国語デジタル教科書の使い方 情:学校ホームページの管理 育:昼間育成
12	金	研:食育授業講座Ⅱ(瑞穂中)14:00-/合唱指導/道徳授業 づくり講座(市民プラザ) 情:保健統計 ふ:バス課外活動9:00- 相:SST小学Bグループ16:30-
13	土	育:高PTA育成
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	情:ホームページ作成入門
18	木	情:ジャストスマイル活用法 相:心の教室相談員研修会(学習室) 15:00-
19	金	情:フリーQ&A 科:星座観察(荒浜小要請研修) 相:SST小学Cグループ16:30- 育:夜間育成
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	ふ:前期前半通級終了日
24	水	情:Word入門/Word活用1 相:SST中学①グループ18:30-
25	木	研:支援機関訪問研修① 情:Excel入門/Excel活用1 相:SST中学②グループ18:30-
26	金	情:画像編集入門
27	土	科:宿泊野外研修「樽池・八方尾根」
28	日	
29	月	研:AED講習Ⅰ13:30- 情:Word活用2/Word活用3 相:班会議13:00-
30	火	研:事務主任研修①14:00- 情:Excel活用2/Excel活用3 育:夜間育成
31	水	研:幼保小の円滑な接続②

研:教育研究班、科:科学技術教育、相:教育相談班
ふ:ふれあいルーム、情:情報教育研修、育:育成センター



所 員 随 想

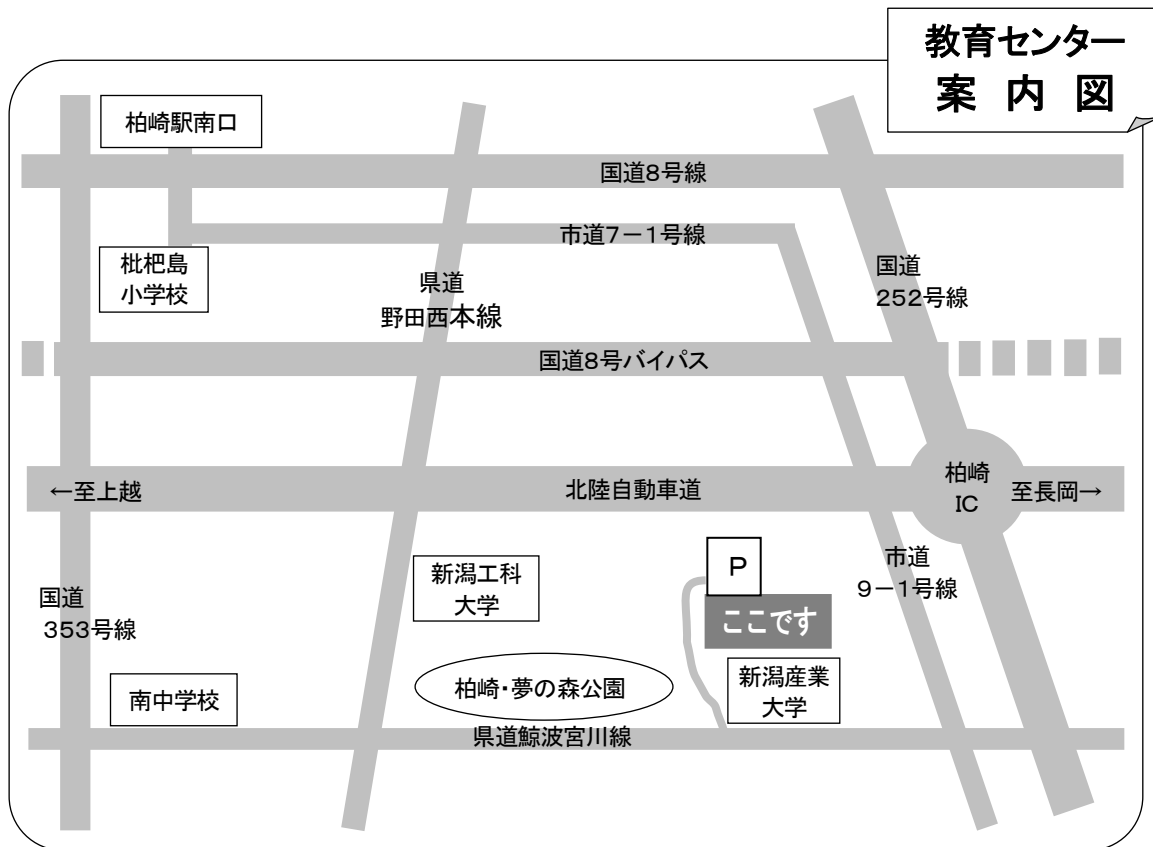
ホッとした言葉

教育相談班 主査(臨床心理士)

佐藤 郁代

最近、皆さんがホッとした瞬間って、いつですか？お休みの日に、好きなことをしている時ですか？それとも、家族や友人とゆったり過ごしているときですか？ちなみに私は、お腹いっぱいご飯を食べた時と、眠たい時にすぐに布団に入って、寝られる時にホッとします(ああ、ぐうたら…)。

この間、心理の研修会で、「ホッとする言葉」に出会いました。その研修のテーマは、障がいを持つ子どもと、それを見守る大人についてでした。講座の先生は、子どもに苦手なことがある場合、「子どものできないことを、何とかしよう、改善しよう」と一所懸命になるのではなく、子どもができないことを、本人または家族が、周りの人に「お願いします」と言える術(すべ)を身につけましょう」とおっしゃいました。「そうだよなあ。それって、大切なことだよなあ…」と私自身が納得し、それと同時に、その言葉に温かさを感じました。何だかとっても、ホッとできる言葉です。人には、色んな感じ方や考え方があるので一概には言えませんが、「子どもに何が苦手なことがあれば、子ども自身に力をつけなければいけない、頑張らせなければいけない」と思って、必死になる大人は少なくないと思います。でも、どうしても苦手なことが出てきたら、「周りの大人や友達に‘お願い’と発信すればいいんだよ。そういう術もあるからね」と、子どもたちには伝えていきたいな…。そんな風に思いました。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

平成25年6月発行